

新規上場申請のための四半期報告書

(第6期第3四半期)

自 2024年1月1日

至 2024年3月31日

株式会社WOLVES HAND

目 次

頁

表 紙

| | |
|------------------------------------|----|
| 第一部 企業情報 | 1 |
| 第1 企業の概況 | 1 |
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 1 |
| 第2 事業の状況 | 2 |
| 1 事業等のリスク | 2 |
| 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |
| 3 経営上の重要な契約等 | 5 |
| 第3 提出会社の状況 | 6 |
| 1 株式等の状況 | 6 |
| (1) 株式の総数等 | 6 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 6 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 6 |
| (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 6 |
| (5) 大株主の状況 | 6 |
| (6) 議決権の状況 | 7 |
| 2 役員の状況 | 8 |
| 第4 経理の状況 | 9 |
| 1 四半期連結財務諸表 | 10 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 10 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 12 |
| 四半期連結損益計算書 | 12 |
| 第3四半期連結累計期間 | 12 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 13 |
| 第3四半期連結累計期間 | 13 |
| 2 その他 | 15 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 16 |

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 新規上場申請のための四半期報告書 |
| 【提出先】 | 株式会社東京証券取引所 代表取締役社長 岩永 守幸 殿 |
| 【提出日】 | 2024年5月16日 |
| 【四半期会計期間】 | 第6期第3四半期（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社WOLVES HAND |
| 【英訳名】 | WOLVES HAND Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役CEO 北井 正志 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪市西区南堀江三丁目7番22号 |
| 【電話番号】 | 06-6599-9106（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役CFO 経営管理本部長CFO室長 谷内 圭一郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪市西区南堀江三丁目7番22号 |
| 【電話番号】 | 06-6599-9106（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役CFO 経営管理本部長CFO室長 谷内 圭一郎 |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第6期 第3四半期 連結累計期間 | 第5期 |
|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2023年7月1日 至 2024年3月31日 | 自 2022年7月1日 至 2023年6月30日 |
| 売上高 (千円) | 3,523,301 | 4,651,067 |
| 経常利益 (千円) | 508,018 | 800,881 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 310,326 | 506,125 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 310,156 | 506,296 |
| 純資産額 (千円) | 1,830,130 | 1,519,974 |
| 総資産額 (千円) | 5,489,271 | 5,452,324 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 41.80 | 68.17 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | — | — |
| 自己資本比率 (%) | 33.3 | 27.9 |

| 回次 | 第6期 第3四半期 連結会計期間 |
|-----------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2024年1月1日 至 2024年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 15.18 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式はあるものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、第5期第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第5期第3四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業上のリスクの発生、または、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の正常化や、外国人観光客数の急回復に伴うインバウンド需要の高まり、堅調な株式市場等を受けて、国内景気全般に明るい材料が見られた一方、緊迫した国際情勢を受けた経済全般への不透明感や、エネルギー・資源価格の高騰、円安傾向の長期化に起因する国内物価の高騰、国内労働力人口の構造的な減少等、企業を取り巻く外的経営環境の不確実性はますます高まりを見せつつあるものと認識しております。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、昨今のコロナ禍におけるペット用品市場の堅調さや、家計のペット向け支出が拡大傾向にある中、ペットの家族化、高齢化を背景にした世帯あたりの動物病院への支出額の増加傾向の基調に変わりはなく、飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請はますます高まっているものと認識しております。

このような情勢のもと、当社グループは、生き物の命を救い、守り続けることを唯一の目的とする「Animal is my life」を企業理念として掲げ、その具現化の一環として、サステナブルな動物病院経営の実現に向け、獣医師、愛玩動物看護師、トリミングスタッフ等の人材あってこそその動物病院経営であるというヒューマンビジネスの原点に立ち返り、従業員の満足度を高めるための様々な内的な施策を実施した他、新卒、中堅社員等、それぞれの経歴に応じたOJTの実施による人材教育にも注力し、これらの基本的な施策を通して、もって顧客満足度の向上を企図した取り組みを行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,523,301千円、営業利益516,236千円、経常利益508,018千円、親会社株主に帰属する四半期純利益310,326千円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,489,271千円（前連結会計年度末に比べ36,947千円の増加）となりました。

流動資産は945,146千円（前連結会計年度末に比べ94,920千円の減少）となりました。その主な要因は、現金及び預金が122,929千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,544,124千円（前連結会計年度末に比べ131,868千円の増加）となりました。その主な要因は、のれんが110,249千円、繰延税金資産が48,396千円、それぞれ減少した一方、建物及び構築物が140,664千円、土地が130,310千円、それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,659,141千円（前連結会計年度末に比べ273,208千円の減少）となりました。

流動負債は1,083,596千円（前連結会計年度末に比べ134,447千円の減少）となりました。その主な要因は、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が102,409千円、未払消費税等が49,090千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は2,575,544千円（前連結会計年度末に比べ138,761千円の減少）となりました。その主な要因は、長期借入金が135,391千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,830,130千円（前連結会計年度末に比べ310,156千円の増加）となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益310,326千円の計上に伴う利益剰余金の増加であります。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間においても、引き続き「わん太郎」のクラウド化に向けた取り組み等を進めておりますが、研究開発費として会計処理すべき支出はありませんでした。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において締結した重要な契約は次のとおりであります。

(土地及び建物購入のための借入契約)

当社は、動物病院施設用物件の取得資金として、りそな銀行と金銭消費貸借契約を締結し、借入を実行しております。主な契約内容は以下のとおりであります。

2024年3月27日付 株式会社りそな銀行 金銭消費貸借契約

i. 契約の種類

金銭消費貸借契約及び金銭消費貸借契約に関する追加約定並びに根抵当権設定契約

ii. 締結年月

2024年3月

iii. 契約の当事者

当社、株式会社りそな銀行

iv. 契約の概要

借入期間 : 2024年3月29日～2034年3月31日

借入金額 : 200,000千円

借入金利 : 変動金利（基準金利に一定のマーヅンを加算）

根抵当物件 : 土地建物（沖縄県中頭郡北谷町）

主な債務者の義務 : 以下の財務制限条項を順守すること。

(1) 各事業年度末における連結損益計算書に記載される営業損益を2期連続して損失としないこと。

(2) 各事業年度末において、「有利子負債」を連結損益計算書に示される「キャッシュ・フロー」で除した値を0以上10以下に維持すること。各指標の定義の概要は以下のとおり。

有利子負債 : 借入金、コマーシャル・ペーパー、社債及び受取手形等の割引高

キャッシュ・フロー : 経常損益＋減価償却費＋のれん償却費－法人税等充当額で計算される額

v. 提出日現在の残高

200,000千円

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 10,000,000 |
| 計 | 10,000,000 |

(注) 1. 2024年2月15日開催の臨時株主総会決議により、同日付でA種種類株式に係る定款の定めを廃止しております。

2. 2024年4月18日開催の臨時株主総会決議により、同日付で発行可能株式総数に係る定款変更が行われ、発行可能株式総数は21,696,000株増加し、31,696,000株となっております。

②【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2024年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (2024年5月16日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|---|
| 普通株式 | 7,924,000 | 7,924,000 | 非上場 | 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 7,924,000 | 7,924,000 | — | — |

(注) 2024年1月30日開催の取締役会において、A種種類株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2024年2月14日付で自己株式として取得し、その対価としてA種種類株式1株につき、普通株式1株を交付しております。なお、当社が取得したA種種類株式のすべてについて、会社法第178条に基づき同日付で消却しております。

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|---------------|---------------------------------------|-------------------|------------|-----------|--------------|-------------|
| 2024年2月14日(注) | 普通株式 936,000 A種種類株式 △936,000 | 普通株式 7,924,000 | — | 90,000 | — | 215,000 |

(注) 2024年1月30日開催の取締役会において、A種種類株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2024年2月14日付で自己株式として取得し、その対価としてA種種類株式1株につき、普通株式1株を交付しております。なお、当社が取得したA種種類株式のすべてについて、会社法第178条に基づき同日付で消却しております。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2024年3月31日現在

| 区分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内容 |
|-----------------|--------------------------|-----------|--|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式 (自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式 (その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式 (自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 500,000 | — | — |
| 完全議決権株式 (その他) | 普通株式 7,423,600 | 74,236 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。 |
| 単元未満株式 | 普通株式 400 | — | — |
| 発行済株式総数 | 7,924,000 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 74,236 | — |

(注) 2024年1月30日開催の取締役会において、A種種類株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2024年2月14日付で自己株式として取得し、その対価としてA種種類株式1株につき、普通株式1株を交付しております。なお、当社が取得したA種種類株式のすべてについて、会社法第178条に基づき同日付で消却しております。

② 【自己株式等】

2024年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数 (株) | 他人名義所有 株式数 (株) | 所有株式数の 合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|------------------------------|----------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社 WOLVES HAND | 大阪市西区南堀江三丁目7 番22号 | 500,000 | — | 500,000 | 6.31 |
| 計 | — | 500,000 | — | 500,000 | 6.31 |

(注) 2020年12月7日開催の取締役会決議に基づき2020年12月11日に取得した自己株式250,000千円(500,000株)につきましては、会社法及び会社計算規則に基づき算定される分配可能額を超えて取得がなされていたことが判明しました。取得した自己株式は、四半期連結貸借対照表の2023年6月末及び2024年3月末の残高に含まれています。

2 【役員の状況】

前事業年度に係る定時株主総会終了後、当四半期累計期間における役員の異動は次のとおりであります。

(1) 新任役員

| 役職名 | 氏名 | 生年月日 | 経歴 | 任期 | 所有株式数 (株) |
|-------------------------|------|------------|---|-----|--------------|
| 取締役 (社外取締役) | 中田 浩 | 1964年3月6日 | 1986年4月 株式会社幸福相互銀行（現 株式会社関西みらい銀行）入社 2004年4月 株式会社関西アーバン銀行（現 株式会社関西みらい銀行）大阪駅前支店法人部長 2006年4月 同行新大阪駅前支店法人部長 2010年4月 同行京滋ハウジング業務部本部長 2017年4月 同行ハウジング業務部担当執行役員就任 2019年4月 株式会社関西みらい銀行ハウジング営業部担当執行役員就任 2023年9月 株式会社RHコミュニティ代表取締役就任（現任） 2024年1月 当社取締役（社外）就任（現任） | (注) | — |
| 取締役 (社外取締役・非常勤監査等委員) | 武田 信 | 1966年3月10日 | 1989年4月 山一証券株式会社入社 1998年3月 株式会社ゼンリン入社 2000年8月 大和証券エスピーキャピタル・マーケット株式会社（現 大和証券株式会社）入社 2022年3月 株式会社フューチャースピリッツ監査役（社外）就任（現任） 2024年1月 当社監査等委員（社外）就任（現任） | (注) | — |

(注) 2024年1月18日開催の臨時株主総会終結の時から2024年6月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

(2) 退任役員

| 役職名 | 氏名 | 退任年月日 |
|----------------|-------|-------------|
| 取締役 (社外取締役) | 丸山 雄士 | 2023年12月31日 |
| 取締役 | 東野 利武 | 2024年1月18日 |
| 取締役 | 水野 雄貴 | 2024年1月18日 |
| 取締役 | 岡本 芳晴 | 2024年1月18日 |

(3) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性10名 女性一名（役員のうち女性の比率 一％）

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程第216条第6項の規定に基づき、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に準じて、第3四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年7月1日から2024年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当新規上場申請のための四半期報告書は、「企業内容等開示ガイドライン24の4の7-6」の規定に準じて前年同四半期との対比は行っておりません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 690,142 | 567,213 |
| 売掛金 | 198,677 | 243,715 |
| 商品 | 84,884 | 74,731 |
| その他 | 67,489 | 61,033 |
| 貸倒引当金 | △1,127 | △1,547 |
| 流動資産合計 | 1,040,067 | 945,146 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 729,679 | 870,344 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 202,606 | 233,662 |
| 土地 | 1,490,848 | 1,621,158 |
| リース資産(純額) | 18,744 | 12,678 |
| その他(純額) | 1,905 | 1,466 |
| 有形固定資産合計 | 2,443,784 | 2,739,310 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,618,067 | 1,507,818 |
| ソフトウェア仮勘定 | 90,035 | 91,355 |
| その他 | 5,891 | 5,022 |
| 無形固定資産合計 | 1,713,993 | 1,604,196 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 25,612 | 28,349 |
| 長期前払費用 | 45,144 | 41,619 |
| 差入保証金 | 59,128 | 55,416 |
| 繰延税金資産 | 119,300 | 70,904 |
| その他 | 5,291 | 4,327 |
| 投資その他の資産合計 | 254,477 | 200,617 |
| 固定資産合計 | 4,412,256 | 4,544,124 |
| 資産合計 | 5,452,324 | 5,489,271 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 82,712 | 98,024 |
| 短期借入金 | 150,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 454,909 | 441,865 |
| リース債務 | 14,232 | 13,757 |
| 未払金 | 224,061 | 285,708 |
| 未払消費税等 | 98,953 | 49,862 |
| 未払法人税等 | 149,192 | 46,783 |
| 賞与引当金 | 16,863 | — |
| その他 | 27,119 | 47,594 |
| 流動負債合計 | 1,218,044 | 1,083,596 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,587,666 | 2,452,275 |
| リース債務 | 20,502 | 10,659 |
| 資産除去債務 | 99,391 | 101,400 |
| 繰延税金負債 | 2,289 | 3,532 |
| その他 | 4,456 | 7,677 |
| 固定負債合計 | 2,714,306 | 2,575,544 |
| 負債合計 | 3,932,350 | 3,659,141 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 90,000 | 90,000 |
| 資本剰余金 | 2,561,287 | 2,561,287 |
| 利益剰余金 | △881,484 | △571,157 |
| 自己株式 | △250,000 | △250,000 |
| 株主資本合計 | 1,519,803 | 1,830,130 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 170 | — |
| その他の包括利益累計額合計 | 170 | — |
| 純資産合計 | 1,519,974 | 1,830,130 |
| 負債純資産合計 | 5,452,324 | 5,489,271 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 3,523,301 |
| 売上原価 | 2,620,665 |
| 売上総利益 | 902,636 |
| 販売費及び一般管理費 | 386,399 |
| 営業利益 | 516,236 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 4 |
| 受取配当金 | 2 |
| 受取販売奨励金 | 9,592 |
| その他 | 3,254 |
| 営業外収益合計 | 12,853 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 11,158 |
| 資金調達費用 | 5,184 |
| 持分法による投資損失 | 2,953 |
| その他 | 1,774 |
| 営業外費用合計 | 21,071 |
| 経常利益 | 508,018 |
| 特別利益 | |
| 受取補償金 | 22,447 |
| 特別利益合計 | 22,447 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 1,436 |
| 特別損失合計 | 1,436 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 529,029 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 168,976 |
| 法人税等調整額 | 49,726 |
| 法人税等合計 | 218,702 |
| 四半期純利益 | 310,326 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 310,326 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|---|
| 四半期純利益 | 310,326 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | △170 |
| その他の包括利益合計 | △170 |
| 四半期包括利益 | 310,156 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 310,156 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日) |
|---------|---|
| 減価償却費 | 125,398千円 |
| のれんの償却額 | 110,249 |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

当社グループは、動物病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、動物病院事業の単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

| 区分 | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------------|---|
| 一時点で移転される財又はサービス | 3,372,718 |
| 一定の期間にわたり移転される財又はサービス | 150,582 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,523,301 |
| その他の収益 | — |
| 外部顧客への売上高 | 3,523,301 |

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日) |
|---|---|
| 1 株当たり四半期純利益 | 41円80銭 |
| (算定上の基礎) | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 310,326 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 310,326 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 7,424,000 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年5月1日

株式会社WOLVES HAND

取締役会 御中

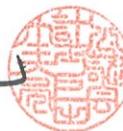
太陽有限責任監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

間本 伸吾 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

戸田 圭亮 

監査人の結論

当監査法人は、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程第216条第6項の規定に基づき、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に準じて、「経理の状況」に掲げられている株式会社WOLVES HANDの2023年7月1日から2024年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年7月1日から2024年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社WOLVES HAND及び連結子会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上